



# 生理用品を学校に

6月9日(木)日本共産党の坂口多美子市議員は「生理の貧困」と環境整備について一般質問。高校や大学生など若者の5人1人が「金銭的理由で生理用品を買えない苦勞した」というアンケート結果から国会や地方議会でも「生理の貧困」が話し合われ、この5月の自治体対策に取り組みたいとの意向を伺い、市中

学校のトイレに生理用品を設備するの1つを要求。保健

室の設置である。そのほかから借りに行くハードにはある

# 生活保護行政の改善を

6月10日(木)日本共産党の井本ゆう子市議員は、生活保護行政について一般質問。コロナ禍で生活困難者が増え、生活保護制度について厚生労働省が柔軟な

対応の必要性も指摘した。女性トイレの不足を改善するためにも男

# の改善を

弾力的な対応の1つとして、借り返しを推進しているにも関わらず、本市の対応の不十分

# 日本共産党

専門家による政府は検討を

日本共産党の志位委員長は18日、東京・江東区内での街頭演説で、政府の新型コロナウィルス感染症対策分科会の尾身会長ら専門家26氏が同日発

表した東京五輪・パブリックピックの問題に関する提言について「五輪開催に伴うリスクが極めて高いことをデータを踏まえて詳細に明らかにした」と指摘。

志位委員長は、提言が大会開催を前提とした全国各地への人流・接触機会の増大による感染拡大や医療ひっ迫のリスクを指摘し、競

技会場の外で発生するリスクが競技会場内で生じるリスクに比べ極めて高いものの議論がほとんどされてこなかったと強調

されていることが重要だと述べ、「政府は提言を正面から受け止め真剣に検討し、その結果を国民に明らかにするべき」と強調しました。

# 買い物難民・困難者対策

6月10日(木)日本共産党の中村あすこ市議員は、買い物難民・買い物困難者対策について一般質問しました。砂山・吹上地域で相次いでスーパーが撤退したため、買い物物が困難になったと

家計が苦しい。被服費、HMAの削減を認められず、おたまたまの買い物は、改善を求めました。

困をなくするための目標として、この課題をあげたSDGsの市の取組課題が、ないことを指摘し、取組の充実を求めました。

# カジノはあかん、一斉宣伝

6月20日(日)午前1時から、塩屋交差点で新婚入や共産党後援会のみならずと「カジノあかん、和歌山一斉街頭宣伝」を行いました。カジノ問題を考える和歌山ネットワークと大運動実行委員会の呼びかけに応じた行動です。ささと私

ひめだがハンドマイクを許しました。



ひめだがハンドマイクを許しました。